



この人に



株式会社トイファクトリー (可児市瀬田 800-1)
代表取締役



藤井昭文 氏 (50歳)

インタビュー ● 担当副会長：加藤誠二 ● 広報委員長：高垣守宏 ● 副委員長：松井啓至



藤井社長のプロフィールと御社の概要について

私は美濃白川の生まれで1歳になる前に岐阜市へ移り、小学生からは可児市に住んでいます。

私の親父は建築の職人で、大工や内装業をしていました。まだ国内にキャンピングカーがないころ、趣味で自分の車にベッドやキッチンのをせ、カーテンやじゅうたんをひいたりして、手作りキャンピングカーを作っていました。ですから、もの心ついた頃には、家族旅行は旅館に泊まるのではなく車に泊まるのが普通でした。結局それが原点となり、今本業に繋がっていますね。(笑)

1995年にトイファクトリーを創業し今年27周年を迎えました。可児が本社で、他に東京・湘南・東北にも店舗があります。また2008年には沖縄工場を竣工しました。

キャンピングカーや特殊車両の製作を行っ

ていて、現在全国650社のトヨタ系ディーラーさんに当社の車を販売していただいております。トヨタ・日産などの自動車メーカーが製作するキャンパー特装車がベース車両のため、メーカー保証付きです。

いろいろな車両を設計・開発

面白い事業としては、トヨタ自動車とソフトバンク社が「MaaS(マース)車両」の自動運転化にあたってどのようなコミュニケーションツールをつくるかを模索されており、2019年11月に発表された車両も実は弊社にて設計、開発、製作を行っています。

また、カーボンニュートラルな水素車両として世界で1台のPHVのキッチンカーの内装も、実は弊社で設計開発しているんですよ。

キャンピングカーという遊びの車をメインで製作することを行っていますが、ドクターカー



や遠隔医療車などの医療関係車両もここで設計開発しています。遠隔医療車は、医者がいない状態でもAIを使ってモニター越しに診察ができます。

車以外のノウハウが多岐にわたって必要になってくるのですが、ありがたいことに元々自動車メーカーの設計開発をされていた社員やデザイナーだった社員が、弊社で働いています。まだバリバリの30代・40代の方々です。自分が考えたことが形になるというのは、やはりやりがいがあるのだと思います。

コロナの影響はありましたか？

緊急事態宣言が出されたときは、一瞬ピタッと注文が途絶えました。東京都内のモールにある店舗は3か月クローズになりました。飲食じゃないので補助金もいただけない状態でヒヤヒヤしていました。

そんな時、「キャンピングカーって仕事に使えるね」という声が聞こえてきました。リモートワークで家の中にずっといるのが辛くて、自分のクルマを使ってキャンプ場で仕事をしてみたら、気持ち良かったし子供も喜んでいと、SNSで発信され始めたのです。

ここ2~3年はアウトドアブームでしたので、テント泊をされていた方からも設営や撤収の手間がなく、雨が降っても車内で遊べるキャンピングカーは凄く良いと注目を浴び、問い合わせは例年の7~8倍ありました。

加えて、昨年2月に「情熱大陸」というTV番組に出させていただき、想像以上に反響がありました。翌3月、4月は、ここ1拠点だけで月150台の販売を行いました。その様なことは今までには無く驚きました。

地域との関わりについて

まずは雇用を増やすこと。初めは2~3名の社員でしたが、今では100名近くになりました。

次に、当社が地域に対して何かお役に立てないかと考え、美濃加茂市や三重県いなべ市とは包括協定を結び、地元である可児市とも様々な企画案のコラボレーションが始まっています。それは災害時に当社のキャンピングカーをお貸しし、避難所や指揮車両、医療などマルチモビリティとして使って頂くための締結です。



一つの良い事例として、ニュージーランドではコロナが発生した翌日に、キャンピングカー300台を集めて隔離施設が出来上がりました。

日本でも各県各市町村に1台ずつでも配備されていれば、有事の際に集めて仮設住宅にも病院にもなります。公園や広場にキャンピングカーを集結することで、災害時の拠点センターができないか提案し始めているところですよ。

余談ですが、14年前に沖縄工場をつくった際、当時の知事がよく見学にご来場されました。これからは黒塗りのクルマは時代遅れなので、普段は移動するオフィス、災害時には指揮車両となるマルチに使える車を作らせて下さいとお願いし、完成させました。その際各方面に大変喜んで頂き、その様な仕組みが全国に広がる事を願っています。

好きな言葉「やるなら今しかない」

長渕剛さんの歌で「やるなら今しかねえ」というフレーズがありますが、これは子供の頃からずっと思っていました。やって後悔はしてもいい、でもやらない後悔は絶対したくない。ですからやると決めたらやっちゃいますね！社員には動きが速すぎてついていけないとか、いろいろ言われています。(笑) でもそれがなければ、何も生まれてこないと思いますし、今の会社も出来なかったと思います。

私はどこか大手企業の方に会うときも、全くこのままなんですよ。話し方も恰好もこのままです。相手が大企業だからと躊躇しても何も始まらないじゃないですか。それでも後々すごく可愛がっていただけるのは、不思議でありありがたい事です。だからどんなシチュエーションでも「やるなら今しかねえ」との精神で進めています。

キャンピングカーで脳リフレッシュ

日本でキャンピングカーはまだ文化にまでなっていないくて、やっと今底辺ができたところです。欧米では100年前から車を使ったレジャーが当たり前です。週末になると道路にキャンピングカーをた



体に「TOY FACTORY」と記してあり、救急車がおもちゃ工場で作られているっておかしくないかなと思いましたが(笑)、外国でもアイキャッチ的にすぐに覚えていただけるメリットもあります。

人生は楽しんだもの勝ち

やりたいことがあれば、絶対やったほうがいいです。それは年齢に関係なく。年だから無理とか、もういいとか考えてはいけないと思います。一度しかない人生、「人生は楽しんだもの勝ち」だと思います。

本社1Fフロアーには数々の有名人が使用した大型キャンピングカーもあり、ワクワクする空間が広がっています。

人懐っこい笑顔の藤井社長、人生をまさに楽しんでいらっしゃるご様子に、こちらもリフレッシュさせていただきました。ありがとうございました。



くさん見かけます。ゆっくり自由に旅するのに最適なのがキャンピングカーです。

私も週末は必ず休みをとり、先週も妻とキャンピングカーで四国へ行ってきました。金曜の夕方まで働いてから出発し、折り畳み自転車を持って行ってサイクリング・山登りや温泉を楽しみ、月曜日朝フェリーで大阪に着いて、そこから出勤しました。体を休める暇がないと言われますが、元々旅好きですのでちっとも疲れません。脳がリフレッシュできますよ。

「トイファクトリー」社名の秘密

「TOY FACTORY」おもちゃ工場という意味です。おもちゃを作っている感覚で一人でトンカントンカンやっていて、いつのまにか「トイファクトリー」になっていました。自分たちが、みんなが、楽しめる会社をつくりたいというのが原点です。

ケニアの国際赤十字社に救急車を寄贈したとき、車

